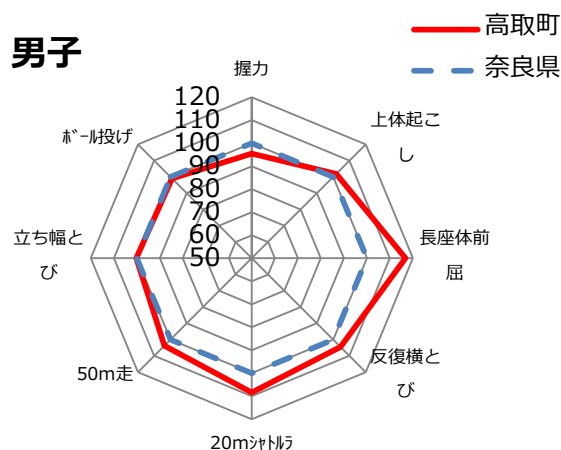


# 令和元年度 体力テストから見える高取町立小学校の児童

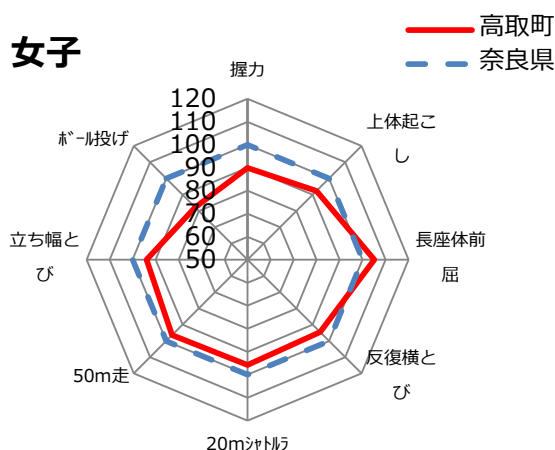
対象者：小学5年生

男子	握力（平均） kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトル 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	15.37	20.17	38.13	43.77	55.03	9.18	151.63	21.83
奈良県	16.10	19.79	32.65	41.88	50.77	9.38	151.32	22.03
県比較	95.5	101.9	116.8	104.5	108.4	103.8	100.2	99.1
女子	握力（平均） kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトル 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	14.35	17.48	38.91	37.78	39.26	9.83	137.00	11.43
奈良県	15.95	18.93	37.02	39.96	40.99	9.65	145.82	13.89
県比較	90.0	92.3	105.1	94.5	95.8	96.4	94.0	82.3

## 男子



## 女子



※県比較は、県平均を100として比較したものです。

※グラフの見方

グラフは、奈良県を100として比較した県比較を使用して作成しているため、グラフの数値は素点（テストのそのままの点数）ではありません。

赤のグラフが大きい ⇒ 高取町の成績が県平均を上回っている。

赤のグラフが小さい ⇒ 高取町の成績が県平均を下回っている。

### 学校の課題及び取り組み

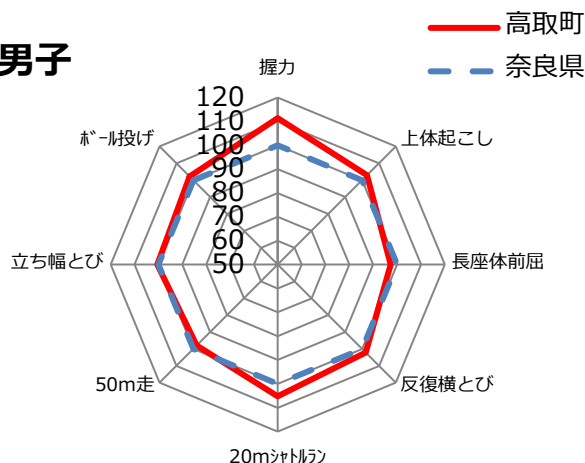
- ▼男子は、県と同様の傾向を示し、特に柔軟性・走力は良好です。
- ▼女子は、柔軟性においてやや良好ではありますが、全般的に県平均を下回っており、筋力・投力において課題があります。
- ▼これまでの学校体育における種々の取組により、徐々に全体的な体力向上の傾向がみられます。今後も同様の取組を継続させるとともに、運動に親しみ、自ら体を動かす意欲を高める取組の創意工夫により、運動して汗をかくことを楽しめる児童を育てていきます。
- ▼「瞬発力」や「持久力」は、これまでの取組で改善しつつありますが、体育の授業や学校生活の場だけで育成できるものではなく、日常生活でも運動を取り入れていくことが必要となります。保護者にも運動の大切さを啓発し、連携を図りながら今まで以上の取組を進めていきます。

# 令和元年度 体力テストから見える高取町立中学校の生徒

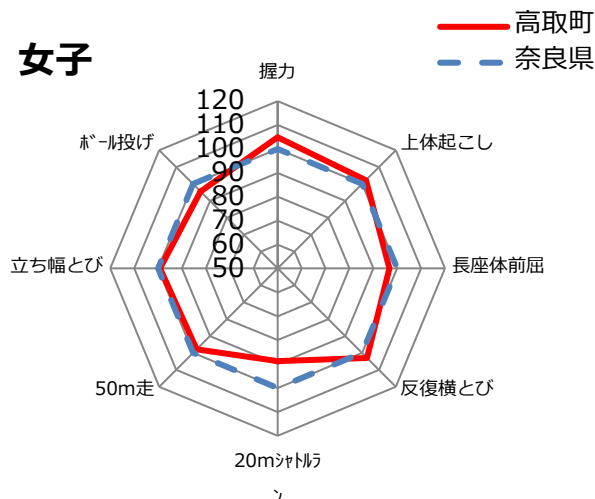
対象：中学2年生

男子	握力（平均） kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトルラン 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	37.55	31.05	45.55	57.40	97.21	7.65	209.16	23.45
奈良県	33.71	30.16	46.81	56.21	92.40	7.57	208.19	22.92
県比較	111.4	103.0	97.3	102.1	105.2	98.0	100.5	102.3
女子	握力（平均） kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	20mシャトルラン 回	50m走 秒	立ち幅とび cm	ボール投げ m
高取町	26.32	25.89	46.74	50.32	51.35	8.86	170.42	12.89
奈良県	25.09	25.32	48.30	48.90	57.85	8.75	171.81	13.49
県比較	104.9	102.3	96.8	102.9	88.8	97.8	99.2	95.6

男子



女子



※県比較は、県平均を100として比較したものです。

※グラフの見方

グラフは、奈良県を100として比較した県比較を使用しているため、グラフの数値は素点（テストのそのままの点数）ではありません。

赤のグラフが大きい ⇒ 高取町の成績が県平均を上回っている。

赤のグラフが小さい ⇒ 高取町の成績が県平均を下回っている。

## 学校の課題及び取り組み

▼男子は、50m走、長座体前屈、女子は、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げの結果が県平均を下回っており、男女ともに瞬発力、柔軟性に課題があります。記録向上を目指し改善できるところを検討します。また、体育授業時に走る運動を増やすことと柔軟運動を導入していきたいと考えています。

▼昼休みを利用した運動や遊びの推奨などの積み重ねを行った結果、昨年度から比較すると県平均を大きく上回る種目が増えました。

▼運動に親しむ資質や能力を育むために、教科体育のみならず、教育活動全体で内発的動機付けを図りながら、生徒の「運動有能感」を高めていきます。

▼授業による運動時間の確保、毎時の補助運動により、体力をつけていきます。運動部活動への参加を促し、運動の機会を増やしていきます。